

【事業実施報告②】「館長おすすめの本コーナー」の設置

■「駅長おすすめの湯」をもじって、「館長おすすめの本」コーナーを新設し、市民や市役所職員を対象に、普段手にしないようなジャンルの本、役立つ実務書などを紹介し、読書意欲を高める取組を5月から始めました。

- ①「市民向け」……………「特設コーナー」を館内カウンター前に設置して紹介
- ②「市役所職員向け」…「庁内のPC 掲示板」に掲載して紹介

■実施状況

①「市民向け」

〈5月のテーマ〉「ブラタモリと日本の地理」



②「市役所職員向け」 vol.1～3

館長おすすめの本 (VOL.1)

その1「AIが同僚」
日経トップリーダー/編 日経BP社 2017年
【印象的な一冊】(本文より引用)
"AIが得意なのは、データを基にした分析であり合理的な推論である。そうしたものを乗越えた『夢』『理念』となるとやはり人間の領域である。"

その2「ミスが減る!信頼される!仕事の準備の本」
鈴木 真理子/著 大和書房 2017年
【印象的な一冊】(本文より引用)
"時間ピンポンVS時間リッチ。時間リッチになれば、仕事はもちろん、"

その3「説明の一流、二流、三流」
梶生 悠/著 明日香出版社 2021年
【印象的な一冊】(本文より引用)
"本書では、一流が実施している説明のやり方をすべて言語化しました。こうする、一流はどうする?"と進んでいます。"

その4「公務員の読み書きそろばん どんな部署でも必ず」
林 誠/著 学陽書房 2020年
【印象的な一冊】(本文より引用)
"役所人生は読むことから始まります。新聞や雑誌から世の中を読み解くむべきものを主体的に探し、自分に取り込んでいくことで、力が蓄え"

その5「事務ミスがない人の図解整理術」
オダギリ 展子/著 三笠書房 2018年
【印象的な一冊】(本文より引用)
"要は『整理整頓すること=目的』ではNGなのです。私の整理整頓の目"

館長おすすめの本 (VOL.3)

その11「コミュニティカフェ まちの居場所のつくり方、続け方」
齋藤 保/著 学芸出版社 2020年
【印象的な一冊】(本文より引用)
"「コミュニティカフェ」とは、市民が自発的・主体的にカフェ的な場や空間・機能を活用して、「事業」として、居心地の良い場を共有すること(中略)つまり、自立、自律した運営をしつつも、公益性を大切に、かつ民間運営ならではの自由なプログラムなどがあがるのが魅力である"

その12「新しい働き方と暮らし方 いま世の中を落かしている20代のリアルライフ」
橋(えい) 出版社 2017年
【印象的な一冊】(本文より引用)
"「ワークライフバランス」という言葉は最近よく耳にするけれど、仕事とプライベートをはっきり分けず、同じベクトルの上で考える20代がいま増えている。若年起業家の生息から、新しい働き方と暮らし方のヒントを探そう"

その13「係長・主任のルール チームで最もあきらめの悪い奴になれ」
井上 和幸/著 明日香出版社 2012年
【印象的な一冊】(本文より引用)
"係長・主任はリーダーとしてのデビュー戦だ。チームリーダーとしての責任と役割を持つ。一方で結果責任は上司も一緒に負ってくれる分、リスクに構え過ぎず、思う存分暴れてかまわない。失敗しても挽回は何度でも効く時だ"

その14「日本一おかしな公務員になれ」
山田 崇/著 日本経済新聞出版社 2019年
【印象的な一冊】(本文より引用)
"プロ野球も年間140試合のすべてを勝つ必要はない。80勝もすれば優勝できます。60敗したって何の問題もない。「トーナメントで勝てばいい」と考えられるようになれば、自らの勝ち負けに一喜一憂しなくなる"

その15「公務員の「異動」の教科書 若手・中堅から課長まで必読!」
堀 直規/著 学陽書房 2017年
【印象的な一冊】(本文より引用)
"異動はセノを整理する絶好の機会。この機会に整理しよう。文房具は日経提う最低限のもののみ。前の職場に関する書類は後任に引き継ぐか捨てます"

館長おすすめの本 (VOL.2)

その6「福岡市を経営する」
福岡市長 高島宗一郎/著 ダイヤモンド社 2019年
【印象的な一冊】(本文より引用)
"日本社会にとってもっとも足りないダイバーシティは『意思決定層に若者がほとんどいない』ことだと思っています。これは企業でも政治の世界でも同じです。(中略)誰かが行動してくれるのを座して待つのではなく、若い自分たちが立ち上がって世の中を変えたい"

その7「10年で激変する「公務員の未来」予想図」
小原重光/著 学陽書房 2018年
【印象的な一冊】(本文より引用)
"これからの自治体、公務員が胸に刺さるキーワードとして私は『リーダーシップ(駆動力)』『稼ぐ力』『常識を破壊する突破力』『自治体3.0を実現する協働の力』と提言しています"

その8「公共施設のしまいかた まちづくりのための自治体資産戦略」
堀 洋樹/他著 学芸出版社 2019年
【印象的な一冊】(本文より引用)
"多くの方にとって、どの公共施設が『本当に必要なものか』という判断は難しいのではないのでしょうか。そこで本書では『本当に必要なものか』という判断にどうアプローチすれば良いかを解説します"

「なぜ、彼らは『お役所仕事』を変えられたのか?」
常勤・前勤・慣習を打破する仕事術
加藤 年紀/著 学陽書房 2019年
【印象的な一冊】(本文より引用)
"あるとき、こう言われたんです「山田お前、5年、10年経った時『あのと、やらかしたな』という酒は一桶に飲める。だけど『お前は何もやらなかったな』という酒は飲めんぞ"

その10「いまどき部下」を動かす39のしかけ
池本 克之/著 三笠書房 2017年
【印象的な一冊】(本文より引用)
"「目標設定」のポイント、まず部下に自分で考えさせ、そのあとに上司がアドバイスを行ない、調整することです。部下の中には自分の実力以上の目標を設定したがる人がいるし、実力以下の目標を設定したがる人もいます"